

Kandai Style

2022.3 Vol.496

関西大学通信

卒業記念特別号



私の! 関大ライフ

私の! *Kandai Life*

今年度の卒業記念特集は、卒業する皆さんに楽しかったこと、頑張ったこと、関大だからこそ成長できたことなど大学生活の思い出を振り返っていただきました。そして特集後半では、春から社会に羽ばたく後輩に向けて、先輩からあたたかいエールを送ります。

安全・安心なまちづくりをしたい

楽しかった思い出としてすぐに思い浮かぶのは、キャンパスにあるコンビニで、授業の合間に友人とソフトクリームを作って食べていたことです。形はいびつでしたが、何だかとてもおいしかったです。

勉強面では防災に関心があり、国内では珍しい社会安全を専門に学ぶことのできる社会安全学部に入りました。防災を多様な視点から深く学ぶことができ、2019年には内閣府の国際交流事業に参加し、中南米で「防災の大切さ」を伝える活動を行いました。中南米は日本と同じく自然災害が多いにもかかわらず防災研究が進んでいないため、非常食の紹介や現地の方々と一緒に避難訓練を行いました。このように、防災を学んでいく中で関心が明確な夢へと変わりました。これからは不動産デベロッパーの一員として、災害に強く、誰もが安全安心に暮らすことができるまちづくりをしていきたいです。

社会安全学部 河村 有紗さん



文武両道を目標にやりきった4年間

勉強でトップになることと、体育会水上競技部の活動を4年間やり遂げることを目標に関大に入りました。そして今、勉強、クラブ活動とも納得のいくまでできました。大変なこともたくさんありましたが、目標通りやりきったと思います。

2年次は教職課程を履修していたため授業数が多く、クラブ活動に加えてアルバイトもしていたので、この時期は心身共に一番しんどかったです。それでも頑張り続けることができたのは、私と同じように勉強とクラブ活動を両立する友人と運よく出会えて、共に過ごせたから。仲間への存在は本当に大切です。きっと一人では無理だったと思います。

卒業後は大学院に進み、研究を続けます。考察する力を養い、修士論文の完成まで頑張ります。

システム理工学部 前田 大毅さん



AI技術を深く学びたい

高校時代からAI研究に興味があり、それを深く学べる総合情報学部への進学を決めました。高槻キャンパスは自然豊かで空気がおおいしく、静かなので、キャンパスに来ると勉強に集中することができました。幅広く情報学を学ぶことのできる学部ですが、興味のある授業を履修していくと、自然と同じ考えの人たちと一緒に、濃い付き合いとなりました。友人との映画鑑賞も思い出ですが、今振り返ると、C棟でわいわい課題をやっていた時が一番楽しかったなと思います。

総合情報学部で学んでいく中で、AIに関する資格「E資格」の取得に挑戦してみたくなり、今は取得に向けて、授業の後に独学で勉強しています。今後は、大学院に進学して、AI技術を応用させた画像処理についてさらに研究します。

総合情報学部 谷 麗奈さん



苦しかった経験が今はプラスに

関大での思い出は体育会陸上競技部で4年間活動を続けたこと、研究の楽しさを知ったことです。小学生から大学4年次までの約11年間、陸上競技を続けました。勉強とクラブ活動の両立は簡単ではありませんでした。特に1、2年次は履修科目が多いため、仲間と練習できる時間がなかなかとれず、時間を見つけては一人で走り続けました。2年次に5000mの自己ベストを更新し、14分50秒24のタイムが出た時には「やっと練習の成果が出せた!」とうれしく感じました。

陸上と研究は似ているところがあって、両方ともトライアンドエラーの繰り返しです。研究で失敗が続くとモチベーションが下がりますが、そんな時には、陸上でスランプから立ち直った経験が生きています。苦しかったことが今の自分にとってプラスになっています。

化学生命工学部 筒井 涼太さん



「継続は力なり」で目指す開幕1軍

体育会野球部での4年間は仲間恵まれ、楽しい野球生活を送ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。1年次の秋季リーグ戦で不調に陥ったのはいい経験になりました。原因は、大学の授業を欠席がちになり、野球の練習量が減ったことでした。「このままじゃあかん」と、勉強は苦手でしたが、授業にきちんと出席することに意味があるのだと考え方を変え、練習量を圧倒的に増やしました。この苦い経験がオリックス・バファローズ入団へとつながった一つの要因じゃないかと思えます。

プロでは開幕1軍を目指します。すべての面でレベルアップが必要ですが、「継続は力なり」という言葉を胸に、練習の質を高めて頑張ります。野球に人生をささげている方々と共に戦える。そのチャンスをいただけたので、楽しみで仕方ありません。

人間健康学部 野口 智哉さん



今やりたいことをすぐに挑戦

学生時代を思い返すと、授業もサークル活動も楽しい思い出がいっぱいです。中でも特に農業に出合ったことが私の人生を大きく変えました。1年次に学生農業活動を行ってから、その魅力にどんどん惹き込まれています。今では未経験者も含めた大学生10人で、自然環境に負担の少ない農法を教わりながら、トマトやダイコン、トウモロコシなどの野菜作りに励んでいます。昨年の7月にはマルシェを開催し、野菜の販売や畑で採れたハーブのお茶を提供して地元の方々と交流しました。

当初、周りの方は「農業なんて定年後でもできる」と言っていたのですが、私は今、農業を本気でしたいから挑戦しています。農業は自然が相手で難しいことも多いですが、農に触れる人を増やし、生きがいや楽しさを共有していきたいです。

政策創造学部 井口 真歩さん



「やりたい」に出会えた

4年間の学生生活で、高校生の時から学びたいと思っていた哲学を、思う存分学べたことがとにかく楽しかったです。入学直後はどの専修に入るか悩みましたが、「当たり前を疑う哲学の見方・考え方はどこにいても役立つことができる」という先生方の言葉も後押しになって、安心して哲学倫理学専修に進むことができました。私にとって関大は「やりたい」に出会わせてくれた場所です。

卒業後はIT企業で働きます。コンピューショナルシンキングと呼ばれる、エンジニアに求められる問題をコンピューターで解決するために、分解・抽象化するための知識や考え方は、哲学と重なる部分があります。自社製品の開発に携われる企業なので、卒業後もやりたいという気持ちを大事にしていけたらと思います。

文学部 谷口 楓果さん



人のためにできることを

応援団吹奏楽部に入部して、いろいろな体験をさせていただき、充実した時間を過ごせました。印象に残っているエピソードは、2年次に全日本アンサンブルコンテストの全国大会への出場が決まったこと。コロナ禍により大会は開催されませんでしたが、選出されたことが素直にうれしかったです。

卒業後はCRCという新薬の治験を管理する仕事に就きます。就職活動をしていた時、初めて「人のためになる、こういう仕事に就きたい」という思いが芽生えました。それまでは、自分目線で物事を考え、選択していたように思います。聴いてくれる人のために演奏する、人のために働く、それをやりがいにしていきたい。振り返ってみると、人のために何かができるようになるための4年間だったのかなと思います。

環境都市工学部 扇田 歩美さん



人々の生活を守っていききたい

卒業後は通信システムを構築・運用する会社でエンジニアとして働きます。法学部からエンジニア。文系学部の私がエンジニアになるためには確たる強みを持つ必要があったので、在学中に「電気通信主任技術者」や「第一級陸上無線技術士」などの関連する資格を取得しました。高校時代からアマチュア無線を楽しんでいたことから法律に興味を湧き、法学部に進学しました。その経験と学びを生かして、今後は通信技術を用いて人々の生活を守る仕事に就きます。

例えば、交通事故や火事、地震などが起きた時に助けを呼ぶには電話が必要ですが、大きな災害時には通信の混雑や途絶によりうまくつながらず、不安な思いをする人が多くいます。今よりもさらに強靱なネットワークを作り、人々が安心して暮らせるようにしていきたいです。



法学部 榮 夏之介さん

ブンと成長できた4年間

在学中の思い出といえば、10カ月のオーストラリア留学です。入学当初は授業にもついていけないほどの英語力。その上、最初のホストファミリーのカルチャーギャップに圧倒され、最初の3カ月間は塞ぎ込んでしまう日々でした。苦しんでいる私を見て、ホストファミリーを変える提案や一緒に勉強をしてくれたのは、留学先でできた友人です。おかげで、次のホストファミリー宅ではうまく会話をし、お互いの文化を教え合うことができました。中でも、ワーク・ライフ・バランスの考え方やSDGs精神などは日本よりも進んでいるなど感じ、帰国してからその心得を忘れていません。

今後は、さまざまな人と交流し、自分の価値観を広げることや自分の欠点も認め、た上で「個性」を大切にしていきたいと留学を通じて感じました。



外国語学部 新原 万香菜さん

春が待ち遠しい

2年次までは、外国人留学生と日本人学生の交流イベントを運営する「KUブリッジ」というピア・コミュニティに所属していました。最初はうまく計画できず、参加者が集まらないなどイベントを成功させる難しさを痛感し、しんどい思いをしました。しかし、その悩みを仲間と共有し、話し合うことで次第にイベントは成功するように。大変な経験を共に乗り越えたことで、かけがえのない友人となりました。

商学部では、「公認会計士」の説明を耳にすることが多くありました。仕事内容がかっこいいと思い、2年次の秋から資格の取得に向けて勉強を始め、4年次の8月に合格することができました。社会人になってからもプロフェッショナルになるために勉強していきます。4月が待ち遠しいです。



商学部 壺井 聡美さん

新たなことをたくさん知れた関大生活

在学中はレジデント・アシスタントとして女子寮で留学生と共に暮らしながら、新聞サークルに所属していました。新聞サークルでは、ミスコン出場者や飲食店経営者などさまざまな分野で活躍する関大生を取材。普通に生活していたら出会わないような人たちと交流することができ、新鮮で楽しかったです。中には今でも交流を続けている人もいます。

寮には、韓国やベトナムなどのアジア圏の学生が多く、それぞれの言語や文化を教え合うことで、近隣国でも大きな文化の違いがあることを知りました。国際交流や取材を通して、自分の視点だけではなく、多角的に物事をとらえられるようになったと思います。学生数や学部数の多い関大だからこそ身に付いた力かもしれません。

卒業後は営業職に就くので、今まで培ってきた経験を生かして、信頼される人になりたいです。

社会学部 岩崎 奈々さん



夢を叶えるために研究力を磨く

私は体育会野球部に所属し、文武両道につとめました。入部当初は周りとの野球技術の差に圧倒されました。それを埋めるべく、東北楽天ゴールデンイーグルスの則本昂大投手などプロ野球選手のフォームを研究。次に、基礎体力の向上やけがをしない体作りをしたところ、球速が飛躍的に向上し、最速146km/hを達成しました。この4年間で実感したことは、コツコツと努力を続ける大切さです。

また、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手の友好的で律儀な姿勢や活躍を見て感銘を受け、手本にするようになりました。そうしていくことで、今では周りともうまくコミュニケーションを取れ、お互いを高めることができていると感じています。

今後は、プロの道を目指して独立リーグで頑張ります。大学生活でやってきたように足りない部分を補いながら一歩ずつ進んでいこうと思います。

経済学部 原田 雅博さん



卒業する
みなさんへ

先輩からのエール

新しいやり方を模索しよう

私のモットーは「当たり前を疑う」ことです。この視点は、社会学部での学びから得ました。「今までずっとこうしてきたから…」という概念にとらわれて、いつもと同じやり方をするのではなく、新しい方法にチャレンジしてみたいかがでしょうか。失敗しても大丈夫！試みたことが大切だと思っています。

仕事をする上で心掛けているのは、相手の立場に立って考えることとスピード感。これはスピードを上げて1日にする業務量を増やすと言っているわけではありません。社会人1年目は、業務の優先順位が分からず時間がかかってしまいます。これはみんなが通る道です。そうではなく、メールの返信や提出物などを早く行う習慣を付けてみてください。特に人と関わる機会が多い営業職では、レスポンスの早さが「誠意」や「信頼」につながることも多いかと思えます。

これから社会に羽ばたかれる皆さん、仕事とプライベートを分けてうまくリフレッシュしながら、目の前の目標にがむしゃらに向かっていってください。



石崎佳菜さん
サンスター株式会社 営業
2018年社会学部卒業

大学生活での学びは武器になる！

仕事をする上で心掛けているのは、誠実であることです。「ありがとう」や「ごめんなさい」を大切にしています。当たり前のようですが、いざとなるとうまく言えないものです。

在学中は体育会サッカー部に所属し、人間健康学部で主に人間行動論を学んでいました。営業職に就いている現在、先方に何かを依頼することが多くあります。どんなに厳しい状況でも粘り強く商談を続けられるのは、サッカー部での経験があるからです。サッカーをやっていたと心から思っています。

「大学生活は人生の夏休み」とよく言われますが、楽しめましたか？社会人は厳しいこと、つらいこともあります。そういう時にあなたの助けになるのは、大学で何気なく学んできた知識です。そして、これから社会人になっても学び続ける毎日です。自分を磨き続けていきましょう。



大島嵩弘さん
ライオン株式会社 営業
2019年人間健康学部卒業

まずは素直な気持ちで挑戦してみる！

私が仕事のやりがいを感じるのは、周りの人たちを巻き込んで物事を成功に導いた時です。美容部門にいたので、サロンのオーナーや社長と経営方針や広報の方法を共に考えます。その成果が目に見えて現れると、とてもうれしく感じます。営業職ながらプロデューサーのような業務内容です。仕事をしていく中で大切にしているのは、素直でいることと当事者意識を持つこと。誰かのために素直な気持ちで動く、周囲の人も共に動いてくれ、より大きな成功につながります。

卒業される皆さん、いろいろな人と会うことを大切にしてください。今いる環境に染まり、周りが見えなくなってしまう、何かにとらわれて素直に行動できなくなってしまうことがあります。新しい価値観を自ら探していくと、さらに成長することができます。興味がなく、無駄だと思っても何かの縁で、やりたいことに直結していることもあります。何事もまずは素直な気持ちでトライしてみてください。



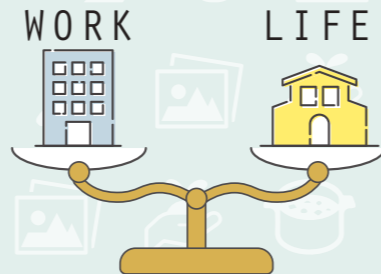
松山大成さん
株式会社リクルート 営業
2019年人間健康学部卒業

— 自分らしく、充実した**生活・働き方**を考える —

ワーク・ライフ・バランスについて

ワーク・ライフ・バランスとは仕事と生活との調和を図り、そのどちらも充実させようという考え方です。理想のバランスは人によって、時期によってさまざま。誰かに準備してもらうのではなく、自らが主体的に作り上げていくことが、生きがいと充実感に満たされた豊かな人生を築くことにつながります。

今月号の誌上教室では社会で活躍している皆さんの先輩に登場していただき、働き方やライフスタイルについて尋ねました。



探検部で出会ったラフティング 地域と関わり合いながら、魅力を広めていきたい

柴田 大吾 さん 株式会社A-STROKE 代表取締役
2000年商学部卒業

探検部では川下りの技術を磨きたくて、ラフティング競技に没頭しつつ、どうしたらその技術や経験を社会に還元できるのか考えていました。一般的な就職活動もしましたが、縁があって世界選手権に出場することに。卒業後は海外や国内を拠点に約10年間競技を続けました。

引退後は東京都青梅市の御岳に移住。ラフティングプランナーとして、大会運営や体験会などを開催する他、宿泊施設を運営しています。金曜日に仕事をして、土日に散策するワーケーションとして利用



する方もおられます。川は釣りをする人もいれば、せせらぎを楽しみたい人もいます。その川を使って大会を開催するには、地域の方の理解が欠かせません。台風で多摩川が大きな被害を受けたとき、大会を中止し、約300人で川掃除をしました。定期的にリパークリーン活動を続けていて、アウトドアスポーツと地域がよい関係を築けていると感じています。

事業を始めて数年は、自分のしたいことがうまく伝わらず、続けられる自信もありませんでしたが、自分の判断で何をするかを

決めてきました。それができる環境はある意味恵まれていたのかもしれませんが、卒業後は、皆さんの置かれた状況によっては難しいこともあるかもしれませんが、やりたいことを大切にしてほしいですね。

会社、家族、地域社会などさまざまなところにチームは存在します。人が集まったら問題も起きるし、話をして解決していきます。そうした経験や達成感を、ラフティングを通して学べる場をこれからも作っていきたくと思っています。



「好きなことを仕事としてやる」 経験の積み重ねが自己肯定感につながっています

山本 大介 さん 料理研究家、カメラマン、会社員
2004年文学部卒業

大学卒業後はいわゆる大企業に就職しましたが、華やかな同期には圧倒的な文化資本の差を感じていました。今から振り返ると、年齢に関係なく「相手に敬意を持たない人」の言葉を気にする必要はなかったのですが、自己評価が低くて自分の味方でいられませんでした。達成感を得られた仕事もありましたが、「大企業の看板があるからでただけ、自分は何もできないのでは」と思うようになり、会社の外に自分の世界を広げていきました。



2012年頃、もともと好きだった写真を本格的に始めたところ、純粋に楽しんで撮った写真がコンテストの優勝を飾りました。初めて会社や仕事を通さずに、自分自身で生み出したものが人に評価された経験。相手にも喜んでもらえて自分もワクワクする、これを仕事にしたいと思い始めました。

いろいろなことにチャレンジしたのはコンプレックスとの戦いだったんだと思います。挫折や失敗、転職を経て、4年前くらいに今の自我が生まれました。料理を始めたの

もこの頃で、今は会社員として働きながら、得意の煮込み料理やおつまみ料理などのレシピ開発を中心に、食イベントや出張シェフなどの食体験も提供しています。

皆さんはコロナ禍で活動が制限される中、十分に頑張ってきたんですから、これからは楽しんでください。選択肢や手段が多い分、自衛も必要ですが、本気で向き合ってくれる人の言葉を大切に、そして何事も怖がらずに実際に体験して自分の感覚を信じてほしいと思います。



現在育児に奮闘中 多様な働き方を未来につなげたい

北原 千裕 さん 中外テクノス株式会社
2014年社会安全学部卒業

もともと環境問題に興味があり、常に働きながら勉強したいと思っていた私は、環境事業の調査やコンサルタントだけでなく、構造物やシステムなど幅広い経験値を得られるところに魅力を感じて入社しました。主に民間企業や自治体を顧客に営業を担当しています。

営業職の女性は私一人。出産後に復帰した女性の事例は長い間ありませんでした。妊娠が分かってからは、職場の人手の問題、業務の振り分け、引き継ぎの時期などを考え、産休に入

る数カ月前には自分の業務の振り分けをリスト化しました。アットホームな職場でフォローし合える体制に支えられました。

復帰後は子育てと仕事を両立することになります。出産前のように時間や場所の制約を受けずに働くのは難しいでしょう。今までの経験を生かした営業サポート的な立ち位置やリモートワークなど、周りに負担をかけない働き方を模索しています。これまで前例がなかった分、改善でき

ることもいろいろとあるはず。未来の後輩の多様な働き方につながるいいなと思います。

卒業生の皆さん、自分が何をしたいのかを明確に持ち、オンとオフの境をきっちりとして自分を保ってください。ワーク・ライフ・バランスを意識しすぎずにいる方が、素敵なバランスを築けるかもしれません。私も楽しみを自分の中で一つでも見つけて、それに向けて頑張りたいと思います。



PROFESSOR'S COMMENTS 社会学部 松下慶太教授

コロナ禍でリモートワークも広がったことに代表されるようにメディア・テクノロジーによって私たちの働き方は大きく変化しています。私たち一人ひとりが「働きたいように、働く」ことに

向き合うことになります。それは会社での働き方だけではなく、副・複業や子育て・介護、地域での社会活動なども含んだトータルなものです。そういった意味ではワークとライフとの「バランス」というよりもそれらを「重ねる」生活や活動のデザインが重要になってきます。

人生100年時代と言われる中で平均寿命ではなく健康に活

動できる「健康寿命」にも注目が集まっています。私たちが健康に活動し続けるためにポイントとして挙げたいのは、今までの常識や当たり前を揺さぶり続けることです。それは専門的には「越境」や「アンラーニング」と言われます。専門的な知識を深めることと同時に、さまざまな価値観や人と出会う「越境」や「アンラーニング」の場としても大学を活用して欲しいと思います。

次回のテーマは…「4月1日から18歳は大人です！
“成年”になると何が変わるの？」

成年年齢を20歳から18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が4月1日から施行されます。成年になると何が変わるのか、関大生に意識調査します。

6月5日は大学昇格100年 ~千里山から4キャンパスに拡大~

関西大学は今年6月5日に「大学」昇格100年を迎えます。1922(大正11)年に千里山学舎が開設され、この年に教育や研究活動の基本的な理念「学の実化」の提唱や学歌(山田耕作*作曲、服部嘉香作詞)の制定など、現在の関西大学の基盤が完成しました。その後キャンパスは高槻、高槻ミューズ、堺と拡大。その足跡をたどってみました。

※1930(昭和5)年以降、山田耕作に変更

1922

千里山キャンパス

お寺の一角から千里山へ

関西大学の前身は1886(明治19)年、大阪市西区京町堀の願宗寺に開校された関西法律学校です。専門学校の扱いでしたが、大学令に準拠した大学への昇格に備え、千里山に現在の校地を購入し、昇格したその年に学舎を新設しました。この頃、手腕を発揮したのが、関西財界の重鎮で、関西大学中興の祖と言われる山岡順太郎です。多くの企業の社長を務め、1917(大正6)年から4年間は大阪商業会議所会頭として活動。1922(大正11)年に関西大学の総理事に、翌年学長に選任されました。そして千里山キャンパスへの移転、学舎建設などを矢継ぎ早に実現させます。

関西財界とのつながりは大学本館の完成にも如実に表れています。大学昇格の5年後に完成した大学本館は新築ではありません。実は大阪市東区北浜にあった住友合資会社の社屋を住友財閥から譲り受け、建物を移築したものでした。大阪に根強い「もったいない」精神の表れでしょう。戦後は1948(昭和23)年にいち早く関西学院、同志社、立命館などと共に全国の大学のトップを切って新制大学に移行。法、文、経済、商の4学部で新たなスタートを切りました。

そして高度成長期を迎え、各学舎、研究棟、実験棟を建設。その後、開館当時、日本最大規模と言われた総合図書館、地下1階にプールを備えた100周年記念会館など重要な施設を次々に建設。学部も、工学部(のちにシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部に改組)、社会学部、政策創造学部、外国語学部が開設され現在に至っています。



現在の以文館



住友合資会社本社



大学本館

1994

高槻キャンパス

「情報のプロ」育成とスケートリンク

1994(平成6)年、高槻キャンパスが完成し、総合情報学部が誕生しました。コンピューターが社会の隅々にまで及びつつあった時期です。時代の流れをいち早くつかんだ格好で、広大な敷地と緑豊かな自然の下、最新の機器と最高水準のスタジオなどを備えた環境の中で、学生たちは最先端の「情報学」を学んでいます。文系、理系の枠を超えて学生を受け入れ、「情報」という視点から人間と社会の問題を探索。同時に情報・メディア・コンピューターの理論を習得しながらコンピューター・リテラシーやメディア・リテラシーを身に付けた「情報のプロ」を育てています。

このキャンパスが全国的に有名になったもう一つの理由はスケートです。2006(平成18)年7月、日本の大学では初めて国際競技規格を満たしたスケートリンク「関西大学アイスアリーナ(現・関西大学 たかつき アイスアリーナ)」が完成しました。高橋大輔さんや宮原知子さんら世界レベルの「関大フィギュアスケーター」が巣立ちました。

「年中無休」のリンクは関西でも珍しく、利用者は関大の選手だけでなく、市民や他大学のスケーターにも開放され、利用予定表は深夜から早朝の時間帯も、予約でいっぱいです。



関西大学 たかつき アイスアリーナ

2010

高槻ミューズキャンパス

安全・防災のショーケース

2010(平成22)年、高槻ミューズキャンパスが高槻市の中心部に開設されました。社会安全学部では、安全・安心な社会の創造を目標に防災・減災や危機管理などの分野のスペシャリストの養成を目指しています。

キャンパスのもう一つの目的は社会貢献です。地元の安全なまちづくりのため、災害備蓄倉庫、雨水抑制槽などを備えています。倉庫は25mプールほどもある巨大なもので、災害時に避難してくる市民や学生のための食料品や機材などが備蓄されています。

ユニークなのはグラウンド近くの一見何の変哲もない8個のマンホール。実は災害時にはトイレに変身します。下水道に直結しているので、マンホールのふたを外して便座や囲いなどを取り付けて、トイレとして使うのです。



トイレに変身するグラウンドのマンホール

堺キャンパス

健康と健幸。「より良い生き方」とは

高槻ミューズキャンパスと同じ2010(平成22)年に開設されたのが堺キャンパスの人間健康学部です。学びのメインテーマは「健康(health)」と「健幸(well-being)」。病気やストレスを抱えず、皆が幸せに暮らせるように、「より良い生き方」とは何かを追求します。

学びの中で目立つのは、アドベンチャープログラムです。巨大な丸太を組み合わせたタワーや2階建ての高さがある木製の壁を使う体験型学習です。チームでお互いを支えあいながら、「調べる、書く」などの基礎的スキルをチーム単位で学びます。

もう一つ、このキャンパスで目立つのは地域貢献活動です。地域の子どもたちに「食事」と「居場所」を提供する「かんだい食堂」では、子どもたちが安心して食事を楽しめるほか、宿題を学生に教えてもらったり、悩みの相談に乗ってもらったりしています。このほか高齢者と学生が共に楽しむダンス教室など、多彩な企画が展開されています。



丸太を組み合わせたタワー

学部・研究科・併設校トピックス

法学部／法学研究科

ウィズ・コロナ時代への巣立ち

ご卒業おめでとうございます。皆さんにとっての4年間の学生生活は、前半と後半で大きく異なったものになったことでしょうか。大学組織は新型コロナウイルス感染症への対応に奔走し、皆さん自身の勉学も、オンデマンド授業やハイブリッド授業といった形式にとどまらず、成績評価も期末試験中心からレポート中心へと大きく様変わりしました。

社会人生活において未知の困難に遭遇することも少なくないと思いますが、大学生活での稀有な経験を生かして、大きく羽ばたいてください。
(入試主任 原弘明教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

足元を固めて

卒業生、修了生の皆さん、おめでとうございます。

皆さんが本学で過ごした時間は何だったでしょう。イヤミや冗談ではありません。ぜひ振り返ってください。新生活が始まると、振り返る余裕どころか、「前を向いて歩け!」と自分自身に命令しなければならぬ瞬間の連続かもしれません。

僕の高校時代の友人が「昔話をするのは足元を固めることだ」と言いました。名言だと思います。過去は振り返るためにだって存在しています。新生活が始まるまでの間に足元を固めてください。
(副学部長 村田右富実教授)

経済学部／経済学研究科

個性が重視される時代の中で

卒業生、修了生の皆さん、おめでとうございます。

さて、皆さんは自分の個性はどのようなところにあると思いますか。今後の社会では、従順さではなく、いかに個性を発揮できるのかが重要になります。皆さんの中には個性を出すのは怖いことだと考えてきた人もいかもしれませんが、「あの人は個性的だ」というのは、これからの社会では褒め言葉です。今後は多様な個性を大切に、発揮させられる社会が発展することになります。皆さんが個性を発揮し社会で活躍することを心より祈っております。
(副学部長 榊原雄一郎教授)

ご卒業おめでとうございます。

このコーナーでは、各学部・研究科・併設校の活動やメッセージを掲載しています。

商学部／商学研究科

商学部卒業生の皆さんへ

商学部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

商学部では、実学教育を学部教育の根幹と考え、グローバル化・情報化時代に対応できる人材の育成に力を注いできました。多くの卒業生は社会の一員として判断力と識見を有し、ビジネスの世界で活躍されるはずで。今、大学生生活を振り返ってみれば、充実感や達成感もあれば、悔いや反省もあるかもしれません。これまでの経験を生かして卒業後も知的好奇心の羽をいっぱい広げ、大きくキャリアアップされることを願っています。
(学部長 矢田勝俊教授)

社会学部／社会学研究科

ものごとは変えられる

学生生活の後半は、しんどい2年間だったと思います。さまざまなことが変わりました。同時に、無理だと思っていたことも、実はやればできることにも気付いたでしょう。

そうするしかなかったから変わったと捉えるか、本気でやればものごとは変えられると捉えるか。それはあなたの考え次第です。4月から新たな生活では、ものごとは変えられると信じて、進んでいってもらいたいです。関大で運動力を身に付けた皆さんなら、きっとできます。

皆さんの今後の人生に幸多かれと願っています。
(学部長 森田雅也教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

ご卒業・修了する皆様へ

卒業生・修了生の皆様、この度はおめでとうございます。

関西大学における学生生活では、コロナ禍によって行動が制限されたことも多く、入学前に想像していた以上に厳しく辛い経験もしたはずですが、それゆえにこそ何かをやり遂げた時の充実感は大きかったのではないかと思います。今後は社会人として、この学生時代に得た知見や人との繋がりを生かしつつ、より一層羽ばたいてください。皆様の今後のご健勝と益々のご活躍をお祈りいたします。

(副学部長 内藤友紀教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

変化する時代に向かって

卒業・修了おめでとうございます。コロナ禍という特殊な状況での学生生活だったため、もしかすると思っていた学生生活とは違ったものになったかもしれませんが、この経験をプラスにできるかどうかは皆さん次第だと思います。

今回のことで、これからの社会は大きく変化をするはずで。当たり前だったものが見直されて、必要だと思われるものだけが残り、これまでとは違うことが日常になるはずで。そのような変化の時代を大学生活で経験したことを糧により良く生きていってください。

(副学部長 守崎誠一教授)

人間健康学部／人間健康研究科

Right Now, New is You!

人間健康学部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

これから社会の新人となる皆さん、どうぞ大学での経験を生かして、思いっきり目標に向かって羽ばたいてください。しんどくなったら立ち止まって、誰かに相談してください。将来を見通す事が難しい社会にあっても、人間健康学部での学びがきっと役に立つと思います。人間の持つ時間には限りがあります。まずは健康に留意し、あなたのLife(命・暮らし・人生)を大切にしつつ、果敢に挑戦してください。ご活躍をお祈りしています!!
(副学部長 福田公教准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

理工系を卒業・修了する皆さんへ

卒業・修了おめでとうございます。

今年はシステム理工学部約500人、環境都市工学部約300人、化学生命工学部約350人の学部生が卒業、理工学研究科約350人の大学院生が修了します。これからもそれぞれが属する社会で高度な能力や技術を身に付け、さらに活躍されることを心からお祈りいたします。

今年度もコロナ禍の影響で、皆さんが想像したような学生生活が送れなかったと思います。何もかもが中止や規制され、研究室でさえ満足いくコミュニケーションが取れませんでした。

した。SNSやZoomなどの遠隔ツールで十分だと考える人もいますが、私はそれに賛同できません。オンラインが対面を超えることはないからです。実際にその場にいなければ分からない「空気」のようなものは、オンラインでは伝わりません。確かに便利なツールですが、面倒がらずに自分の目で、耳で直接確認することが社会を生きていくためには大切であることをどうか覚えておいてください。また、マスクやインターネット上の言葉に流されることなく、いろいろな情報やデータを解析し自分で判断する

力も養ってください。

最後にもう一つ。理工系学生には大学に戻ってくるのできる場所があります。それは「研究室」です。朝から晩まで先生や先輩・同輩・後輩と一緒に過ごした思い出深い場所です。卒業後も時間があるときには研究室に顔を出してみてください。社会に出てから得た在籍時とは違う視点で、新しい何かを見つけれられるかもしれません。

皆さんの今後の活躍を期待しています。
(化学生命工学部 副学部長 平野義明教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2022年3月31日をもって関西大学を去られる専任教育職員を紹介します。 大変お世話になりました。ありがとうございました。

| | | | | | |
|------|------------------|--------|--------|---------|----------|
| 文学部 | フレッド・アイナー・アンダーソン | 社会学部 | 黒田 勇 | 総合情報学部 | 北島 治 |
| | 陶 徳民 | | 里見 繁 | | 辻 光宏 |
| | 山本 冬彦 | | 清水 和秋 | | システム理工学部 |
| 経済学部 | 稲葉 大 | 政策創造学部 | 浜田 明範 | 環境都市工学部 | 坂野 昌弘 |
| | 植村 邦彦 | | 原田 輝彦 | | 西澤 英和 |
| 商学部 | カーティス・ハート・ケリー | 外国語学部 | 吉田 信介 | 化学生命工学部 | 池田 勝彦 |
| 社会学部 | 遠藤 由美 | | 李 佳樑 | | 長谷川喜衛 |
| | 小川 博司 | | 人間健康学部 | | 小田 伸午 |

(敬称略)



第10回卒業式を挙行了しました

2月15日、関西大学高等部第10回目となる卒業式を挙行了しました。井尻校長からお祝いの言葉、高等部で出会った友の大切さなど卒業生へメッセージが送られました。卒業生代表からは、コロナ禍において当たり前だと思っていた日常がかけがえのないものと気づき、友と過ごした時間が人生を豊かに彩っていく時間であったと述べられました。高等部を卒業した皆さんが、今後、新たな世界で活躍することを願っています。
(教頭 赤松正人教諭)

関大トピックス

卒業する皆さんへのお知らせ

■ 各種証明書の申請

各種証明書(卒業・修了証明書、成績証明書等)は、卒業後も発行可能です。

キャリアセンター梅田オフィス、東京センターでは、指定年度以降に入学された方の和文卒業(修了)証明書、和文成績証明書の窓口受付のみ行っています。

申請方法や発行に要する日数等は、「各種証明書の申請(卒業生・修了生の方へ)」のウェブサイトにてご確認ください。

問い合わせ先

教職支援センター
電話:06-6368-0889

■ 奨学金の返還

在学中、奨学金の貸与を受けていた皆さん宛に、返還の期日が近づくと「振替案内」などが送付されます。

返還関係書類が届かないことがないよう、住所・氏名・連帯保証人等の変更があれば、変更届を提出してください。

皆さんからの返還金は、後輩の奨学金としてすぐに利用される仕組みとなっていることをご理解の上、延滞のないよう注意してください。

問い合わせ先

奨学支援グループ
電話:06-6368-1121(大代表)

■ 「進路決定報告」と卒業後のサポート

卒業後の「進路決定報告」を未提出の方は、至急キャリアセンターまで報告してください。その際、「OBOG訪問の可否」については、後輩の就職活動をサポートするためにも、ぜひご協力をお願いします。

また、卒業後も就職活動を続ける卒業生に対しては、株式会社マイナビワークスと連携して、引き続きサポートを行っています。

お気軽にキャリアセンターまでご相談ください。

詳細はコチラ▶



問い合わせ先

キャリアセンター
電話:06-6368-0162

■ 資格取得の支援

エクステンション・リードセンターでは、各種資格取得を通して皆さんのキャリア形成をサポートするために、一般の方より安価な卒業生料金で受講できる対策講座を多数開講しています。詳細は、当センターのウェブサイトをご確認ください。

また、講座に関連したさまざまな情報を発信する公式Instagramを開設しましたので、ぜひご覧ください。



HUCAREER.KUOX

問い合わせ先

エクステンション・リードセンター
電話:06-6368-0721

■ 図書館の利用

卒業後も手続きを行えば、関西大学の図書館(総合図書館、高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館)を利用することができます。

ご本人の現住所が記載された書類(運転免許証、健康保険証、在留カード、パスポートなど)と発行手数料1,000円をご持参の上、各図書館にお申し出ください。

詳しくは、図書館ウェブサイト「卒業生・学外の方へ」にてご確認ください。

問い合わせ先

図書館メインカウンター
電話:06-6368-0266

■ 梅田キャンパスの利用

会員制の異業種交流サロン[KANDAI Me RISE倶楽部]やおしゃれで落ち着いた雰囲気のプロカフェ内に併設する起業支援拠点を利用することができます。

また、社会人向け大学院教育として「海外ビジネスマネジメント講座」|会計専門職大学院社会人向けビジネス講座」などを開講。もう少しライトに学びたい社会人へ向けた多種多様な学びプログラム「オープンカレッジ」も随時開催しています。

問い合わせ先

梅田キャンパス事務室
電話:06-4256-6436
(大学院関係は社会人学び直しオフィス
(06-6368-3016))

■ 東京センターの利用

学生・教職員の方ももちろん、卒業後も東京センターを利用することができます。卒業生向けの勉強会・セミナーや交流イベント、教室の貸出(一部有償)等を行っており、テレワークやちょっとした作業場として、東京にお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。

〈メールマガジン〉

様々な情報を配信しておりますので、ぜひご登録ください。

登録はコチラ▶



問い合わせ先

東京センター 電話:03-3211-1670

■ セミナーハウスの利用

卒業後も、関西大学のセミナーハウス「彦根荘(滋賀県)」、「白馬母池高原ロッジ(長野県)」、「六甲山荘(兵庫県)」を利用することができます。

利用を希望する方は、電話でお問い合わせください。

なお、関西大学ウェブサイト「セミナーハウス」のページから、施設概要や利用状況などを確認することができます。

問い合わせ先

関西大学教育後援会
電話:06-6368-0055

よもやまばなし
関大人 四方山話 ◆ 「人生の道しるべ」 人間健康学部教授 植田 紀美子



4年次生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。社会へ一歩を踏み出そうと意気揚々とされているのではないのでしょうか。大学でのさまざまな出会い、経験が確実にこれからの道しるべになっていきます。私の場合、大学最終学年の経験がまさにそうでした。夏休み1か月間、インド最南端に位置するカニャクマリ孤児院へボランティア活動に行きました。アラビア海、インド洋、ベンガル湾の3つの海が交わるコモリン岬がある素敵な場所です。そこで必死に英語の単語を覚える子どもたちに出会いました。木の枝で地面に書いて、書いては消

してと、繰り返し発音していました。紙も鉛筆も持ち合わせていないのです。子どもの可能性、志を持つことの大切さを教えてくれたから輝いた瞳を今でも鮮明に覚えています。ボランティア活動とは名ばかりで、私は子どもたちから大きな道しるべをもらったのです。

社会に出て悩みや困難に直面することもあるかもしれません。その時は、関西大学での経験や出会いを思い返してください。その中に皆さんお一人おひとりの人生の道しるべを見つけることができると思っています。

編集後記

今月号は卒業記念特別号ということで、卒業生の皆さんに贈る記事が数多く誌面に反映されています。4年間の思い出、先輩社会人からのアドバイス、また多様な働き方の時代にマッチしたワーク・ライフ・バランスなど、皆さんにとって興味を引く記事だと思えます。4月からは新社会人です。コロナ禍の2年間は思うようなことができなかったかもしれませんが、学生時代に身に付けた力を信じて前を向いて進んでいってください。皆さんのご活躍を期待しています。(広報課 木田勝也)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2022年3月19日
発行:関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話:06-6368-1121(大代表)

関西大学は2022年に大学昇格100年を迎えます

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。